

代々木図書館新聞

よよぎとしよかんしんぶん

渋谷区立代々木図書館 03-3370-7566

〒151-0053 渋谷区代々木 3-51-8 代々木区民施設 4F

Vol. 37
2017年1月15日

ものづくりを支えて50年 日刀保と 刀剣博物館



「日刀保」とは
公益財団法人日本美術刀剣保存協会の略称です。敗戦後に、日本刀はGHQに没収の対象とされ、消失の危機に瀕していました。その折、日本刀の美術品としての価値を訴え、この文化財を後世に伝えていくために同協会は設立されました。昭和23年のことです。



【刀剣博物館】

代々木4-25-10 Tel.3379-1386
入館料：一般600円 中学生以下無料
開館時間：10：00～16：30
(入館は16：00まで)
休館日：月曜日(祝日は開館)
3月31日(金)まで

左から『鉄のまほろば』山陰中央新報社/
『プロジェクトX挑戦者たち 28』NHK出版/
『美鋼変幻』黒滝哲哉著 日刊工業新聞社

● 以来、美術工芸品として価値ある刀剣類の保存、日本刀の製作技術の保存・向上、また作刀材料の確保を目的として活動を続けてきました。

● たら製鉄の復活

日本古来の「たら製鉄」は、明治以降近代化によって増大する鉄の需要に伴い、より大量生産が可能な近代西洋式製鉄法に代わられていきました。明治期に約200ヶ所あったのが、敗戦後はゼロとなってしまいました。

以降、刀匠たちは残存した材料を分け合って作刀していましたが、やがて、それも払底します。

そこで、日刀保がたら製鉄の復活に乗り出しました。ただし、30年間途絶えていた技術ですから、容易なことではありません。

最後の村下(技師長)を探し出して、その一子相伝の技術を引き継ぎ、苦勞の末、昭和52年に鳥根県で復活させました。

● 西洋式製鉄では作れない

日本刀の鋭い切れ味、強靱さ、冴えわたる鉄の色、美しい地鉄模様、優美な反り。これらは、たたらで作られる玉鋼からでなければ生まれません。炉の中で砂鉄をゆっくりと燃焼させて直接に鋼を取り出す、日本独自の製法です。

● ものづくりの継承

炭素の含有量が多いものを鉄、少ないものを鋼と呼び、中でも玉鋼は鉄の純度が高い極上の鋼を指します。しなやかで粘り強く、可塑性に富みます。古い寺社の釘やかすがいにも使われており、法隆寺の釘が千年を超えて錆びずに耐えているのは、この玉鋼から作られているからなのです。現在世界唯一の日刀保たたらは、昨年日本遺産に認定されました。

● 代々木最後の展示

日刀保とその付属施設「刀剣博物館」は、建物の老朽化に伴い、両国に移転することになりました。3月末までの最後の展示「代々木感謝祭 刀剣博物館開館50年にわたる寄贈名品展」では、国宝級の名品を展示しています。

「生き物の出産に立ち会っているような感動」のあるたたらは、非公開なので、実際に玉鋼づくりの現場を見ることはできません。けれども、日本刀は間近に見られ、申し込めば定例鑑賞会で手に取ることも可能です。初めてのの方は、まず日本刀鑑賞マナー講座へお申し込みください。

最近では、日本刀に関心の高い「刀剣女子」の来館も多いため、まず、図書館で予備知識をつけて行かれると、より深く楽しめます。

渋谷と文学

内田康夫とミステリー

渋谷区郷土博物館・文学館の特別展「内田康夫と渋谷」に連携して、渋谷区立図書館では1月11日まで「内田康夫とミステリー」展を開催しました。

内田康夫は、昭和9年北区西ヶ原で生まれました。小学生の時に戦災に遭い、長野市へ疎開。戸隠山麓の村や秋田県の羽後町、雄勝町などを転々とします。父親は医者だったので、村人たちから大切にされました。食べ物にも不自由はしなかったそうです。

後に、その時の土地勘が小説の役に立ったと、内田は書いています。デビュー作『死者の木霊』を執筆した頃は、渋谷区幡ヶ谷に住んでいました。渋谷区が登場する作品も多いのでご紹介します。

●大山町

大山町の閑静な住宅街に住む橋本千晶の父親が死体で発見された。河内刑事と車椅子の美少女千晶が事件の謎に挑む。



『多摩湖畔殺人事件』
光文社

●幡ヶ谷、代々木警察署

幡ヶ谷駅で降りて笹塚方面へ歩いている時に、浅見光彦は女性がビルから落ちるのを目撃する。女は「ちかてつのかがみでみた」という言葉を残して亡くなった。



『地下鉄の鏡』『鏡の女』所収
祥伝社

●神社本庁

(国学院大学近くから現在は代々木に移転)

夏泊半島で死んだ男は、椿神社の神主を探していた。刑事は日本全国の椿神社を調べるために、渋谷にある神社本庁を訪れる。



『夏泊殺人岬』
徳間書店

●代官山

離婚した坂本は、老朽化した代官山アパートで独り暮らしをはじめた。アパートの隣人は音も立てずにひっそりと暮らしていたが、坂本に箱を預けて失踪する。



『不知火海』
新潮社

●南平台

南平台の能楽堂で行われた追善能の舞台で、水上流家元の孫水上和鷹が死んだ。心臓発作と思われたが、会場にいた医師は、その死に方に不審をいだく。



『天河伝説殺人事件』上下
角川書店

●他にもあります

- 『杜の都殺人事件』
- 『本因坊殺人事件』
- 『佐渡伝説殺人事件』
- 『少女像(ブロンズ)は泣かなかった』
- 『平家伝説殺人事件』
- 『津和野殺人事件』
- 『記憶の中の殺人』
- 『恐山殺人事件』 など

お知らせ

●3月18日(土)に「1日図書館員」を開催いたします。小学4年生以上のお子さんが対象。3月1日(水)からカウンターまたは電話にて、お申込みを受け付けいたします。

代々木図書館：3370-7566

2017年1月～4月の催し

おはなし会

開催日 毎週木曜日(第2木曜日を除く)
時間 15時～15時30分

おはなしとこうさく会

開催日 第3土曜日
時間 15時～15時30分

●3月はおはなしとこうさく会がありません

雑誌リサイクル

開催日 第4土曜日 時間 9時～

図書館ご利用案内

開館時間

月・水～金曜日→11:00～19:00
土日祝休日→9:00～17:00

2017年1月～4月の休館日

毎週火曜日・第3日曜日
2/9(木)・3/9(木)・4/13(木)は館内整理日のため休館します。

編集後記

内田康夫は、「ラブユー東京」「さそり座の女」などで有名な作曲家の中川博之と親交がありました。彼のマンションに行ったら、蔵書のミステリーを片っ端から借りていたそうです。そして、返す時に「なんだ、このトリックは」などと必ず文句を言う。「書けもしないくせに」という中川に「書けるさ」と強がりを持ったのが、作家デビューのきっかけだったとか。その中川のマンションは、代々木上原にありました。

ご紹介した本は、すべて渋谷区立図書館で借りられます。